Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER

61256568

PUBLICATION DATE

14-11-86

APPLICATION DATE
APPLICATION NUMBER

09-05-85 60096754

APPLICANT:

TOSHIBA CORP;

INVENTOR:

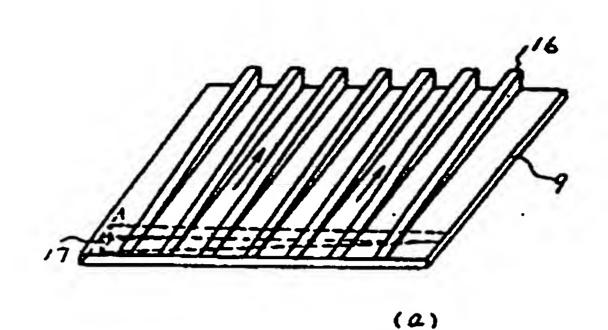
SAKAI KATSUNORI;

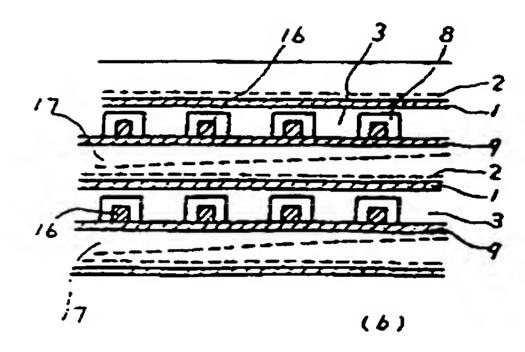
INT.CL.

H01M 8/02

TITLE

: FUEL CELL





ABSTRACT:

PURPOSE: To improve the cell characteristic under high utilization area of supply gas while to improve the service life and the reliability by constructing such that the cross-section of fuel flow path and/or oxidizing agent flow path is larger at the upstream side than the down stream side.

CONSTITUTION: The fuel flow path 7 and the oxidizing agent flow path 8 are formed such that the groove cross-section is decreased gradually by the projected sections 16, 17 having the ridge increasing gradually from the flow path inlet toward the outlet provided in separator plate 9. Consequently, the flow speed of supply gas in said paths 7, 8 will increase gradually toward the outlet, to uniform the current density on the cell plane resulting in improvement of cell characteristic and the service life.

COPYRIGHT: (C)1986,JPO&Japio

19日本国特許庁(JP)

①特許出願公開

四公開特許公報(A)

昭61-256568

⑤Int.Cl.⁴
H 01 M 8/02

識別記号

庁内整理番号

❸公開 昭和61年(1986)11月14日

R-7623-5H

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

劉発明の名称 燃料電池

②特 願 昭60-96754

愛出 顔 昭60(1985)5月9日

砂発 明 者 酒 井 勝 則 川崎市川崎区浮島町2番1号 株式会社東芝浜川崎工場内

①出 願 人 株式会社東芝 川崎市幸区堀川町72番地

砂代 理 人 弁理士 則近 憲佑 外1名

明 粗 福

1. 発明の名称

松 料 電 池

- 2. 特許請求の範囲
 - 1) 燃料が流通する燃料流通路と、酸化剤が流通する酸化剤流通路とを有する一対のガス拡散電低間に電界質を保持する電界質マトリックスが挟持される単位セルをガス不透過性セパレータブレート介して順次複数個積層してなる燃料電池において、上記燃料流通路および/または酸化剤流通路の上流側断面積が下流側断面積よりも大きくなるよう構成した燃料電池。
 - 2) 前記セパレータブレートに上流側断面積が 下流側断面積より小さい凸部を投け、この凸部を 松料流通路および/または酸化剤流通路にはめ込 んだことを特徴とする特許請求の範囲第1項記載 の燃料電池。
- 3. 発明の詳細な説明

[発明の技術分野]

本発明は燃料電池に係り、特に電池の燃料流通

路又は酸化剤流通路の構造に関する。

[発明の技術的背景とその問題点]

従来燃料の有しているエネルギーを直接電気的エネルギーに変換する装置として燃料電池が知られている。この燃料電池は、通常電解質を挟んで一対の多孔質電極を配置するとともに、一方の電極を配置するとともに、一方の電極を配置するとともに、一方の流体を開きませ、また他がのでは、またのでは、またが、単位を表現の流体を対して、生産のでは、自己のは気に対して、ものでは、自己のは気に対した。自己のは気に対して、自己のである。第5図(a)(b)は従来の燃料電池の構成を示す部分断面図と厳断面図である。

第5回(a)において単位セルは電解質を含決したマトリックス1に接する面に触媒が付加されているアノードリプ付電係2及び下側に多孔質体で形成されてトリックス1に接する面に触媒が付加されているカソードリプ付電極3と配置し構成される。上記リプ付電極2.3はそれぞれリブ4.5によつて互いに置行す

特開昭61-256568(2)

るような向きに関7・8が複数本規則的に平行に 設けてあり、これらの第7.8 はそれぞれ流体燃料 および流体酸化剤の流通路を構成する。上紀のよ うに構成された単位セル20をガス不透過性、耐熱 性及び耐リン酸性セパレータープレート 9 を介し、 複数個積層して、倍層セル10が形成される。

第5回(a)において上記積層セル10は、その上下をシール用導体11で挟みこまれ、さらにその上下に配置された結付金具12により積層方向に結付金具12により積層方向に結び成立れる。さらにこのように積層した電池本体30に統体燃料、例えば水気では水気が排気するもの気に、低機化剤例えば空気を供給及び排気するもの素に、では他本体の脚面にマールド13を、フッ素を出て、では他本体の脚面にマールド13を、フッ素を出て、では、アールが15を介在させて固着し、各単位セルに一括して燃料および酸化剤を供給排出するように構成している。

ところで、燃料ガスに含まれる水素、酸化剤ガスに含まれる酸素は、それぞれ流通路である漢7。

つて均一にし、供給ガス高利用率額域でセル特性 が良好で、かつ長野命で信頼性のある燃料電池を 提供することにある。

(発明の概要)

上記目的を達成するために水発明は忽料電池の 悠料研消路および/または酸化剤促通路の上流側 断面積が下流側断面積よりも大きくなるよう構成 したことを符数とする。

(発明の実施例)

以下本発明の一実施例について図面を参照して 説明する。

第1図(a)において、セパレーターブレート9がカソードリブ付電極3に接する面に、カソード溝8の幅より小さく、かつカソード溝8入口から出口へかけて、徐々に山が高くなる様に凸部16を、別記カソード溝8と同数でかつ溝に合致するよう規則的に、平行に致ける。

またセパレータブレート 9 の前紀凸部16 の反対側の面には凸部16と直交する方向にアノード溝7の幅より一回り小さくかつアノード溝7入口から

8と通過中に、このときに起る電気化学反応により選択的に消費される。そのため、流通路である 海7・8の入口付近では、水業及び酸素分圧が高 なり、第7・8の出口に近づくにつれて分圧は小 さくなる。この結果、電気化学反応は分圧の高い 流入流、7・8入口付近で生じやすくなり、セル 平面の電流密度分布は、第2図に示す如く宋端に いく程底くなることがわかる。

以上の事より、セル有効面積から算出した電流 密度で運転しても、局部的に高電池密度即が生態 のため、特に高利用平進転時では、その部分が生態 野塩流密度に近い領域となり、全体のセル特性に 経影響を及ぼす等の問題がある。また長時間の分は 地道転においても局部的に電流密度の高少・劣化 地道をの持ち出しが増加し、反応点の減少・劣化 につながる。これにより電池寿命にも大きく悪影響を及ぼす等の問題がある。

(発明の目的)

本発明は上記事情に鑑みてなされたものでその目的は磁池の電流密度分布を流体の流れ方向に沿

出口へかけて、徐々に山が高くなる様に凸部17を 別記アノード海7と同数でかつ海に合致するよう 規則的に平行に設ける。

次に上記のように構成した本発明の鮎料電池の作用について説明する。燃料流通路7、及び酸化 知流通路8は、セパレーターブレート9に設けた 就通路入口から出口にかけて徐々に山が高くなる 凸部16・17により、海断面積が徐々に小さくなる ので、燃料流通路7及び酸化剤流通路8と流れる 供給ガスの流速は、出口に近づくにつれて徐々に 大きくなる。

第3回は、本発明で実施したセパレーターに凸 邸を設け溝断面積を小さくし、供給ガス促送を大 きくした場合(凶中点線Aで示す)と、凸.邸を設 けず溝断面積は大きい場合(凶中実験Bで示す)

特開昭61-256568(3)

の電池特性を示している。ここでの凸部は、傾斜をつけず、単に供給ガス流速の増加が、電池特性に及ぼす影響のみを示している両者の流通器が面積比は2:3である。第3図から燃料流通路7及び酸化剂流通路8を流れる供給ガス流速が大きい方が、供給ガス拡散効果が良好となり電池特性が良好であることがわかる。

また供給ガス流通溝断面積の縮少化にリブ付電極を加工する事なく達成したので、リブ付電極の

以上説明した様に本発明は次のような効果がある。アノード及びカソード電極の供給ガス流通構・断面積を、流通構出口に近づくにつれて小さくなる。出口に近づくにつれてなるに構成したがあれる。一となり、高利用率にもより電圧を安定に維持できるだけでなく、電池の長寿命化にもつながる利点がある。

また多数セルを復帰した時に供給ガス流通機断 面積を小さくしたので、供給ガスが流通機を通過 する時圧損が大きくなる結果、配流効果が増大す る利点がある。

4. 図面の簡単な説明

第1回(a)(b)は本発明の一実施例を示すセパレータープレート側面図及び積度セル部分側面図、第2回は従来セル平面の電流密度分布を示す特性図、第3回は本発明の効果を説明する特性図、第4回は他の実施例を示すセル側面図、第5回(a)(b)は従来の燃料電池を示す部分構成図と展断面図である。

1 … マトリックス 2 …アノードリブ付電 塩

特徴であるマトリックス層のリン酸が減少すると 収録しているリン酸を補給し、長寿命化を促すい わゆる。リザーバー機能。をそこなうこと無く なりずでのガス拡散面積を減少ささせるが、 まなくたの電池性能の向上をもたらするができる。 たらには、供給ガス流通溝を通過する時のには、 大きので、供給ガス流通溝を通過する時のに たって、なる。その結果セルを多数積層したが 大力果が増大し各セルに供給ガスが均一に分 れスタック全体の利用率特性が良好となる。

[発明の他の実施例]

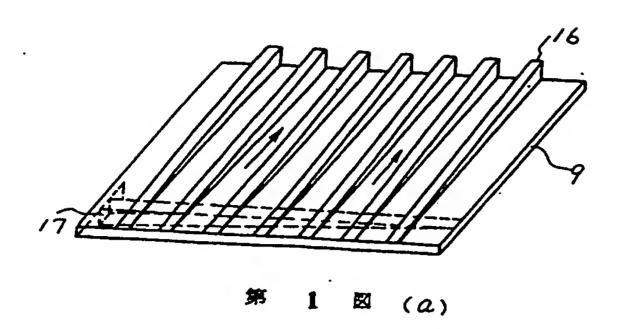
次に本発明の他の実施例を第1図を参照しなが ち説明する。第4図に示す如く、カソードリブ付 電極及びアノードリブ付電極の酸化制流過溝幅な び燃料流過溝幅を出口に近づくにしたがい、小さ くなる様に構成したので、酸化制流過溝及び燃料 流通溝を流れる酸化剤及び燃料ガス実流速は大き くなり本実施例と同様な電池性能の向上をもたら す事ができる。

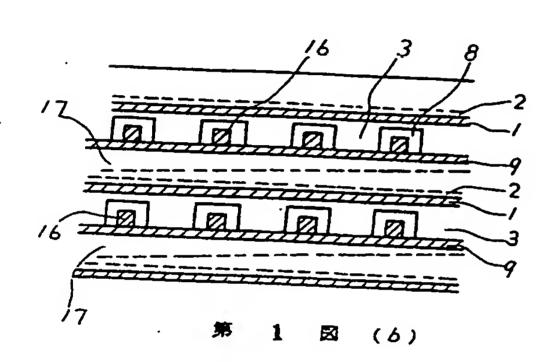
[発明の効果]

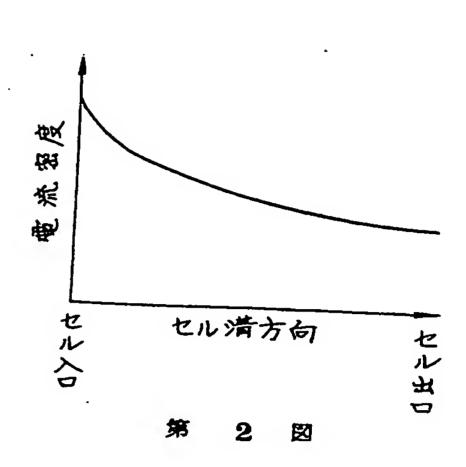
3 … カソードリブ付笔極 9 … セパレーターブレート 16 … カソード海に接する凸部 17: … アノード海に接する凸部

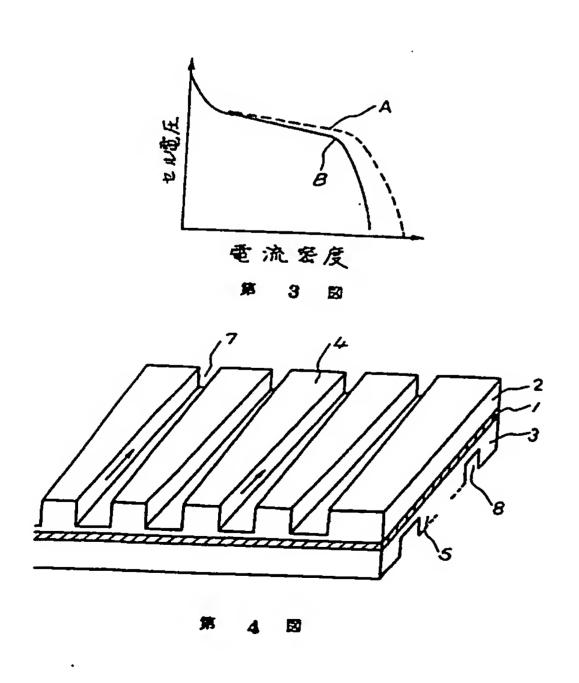
> 代理人 弁理士 則 近 應 佑 (ほか1名)

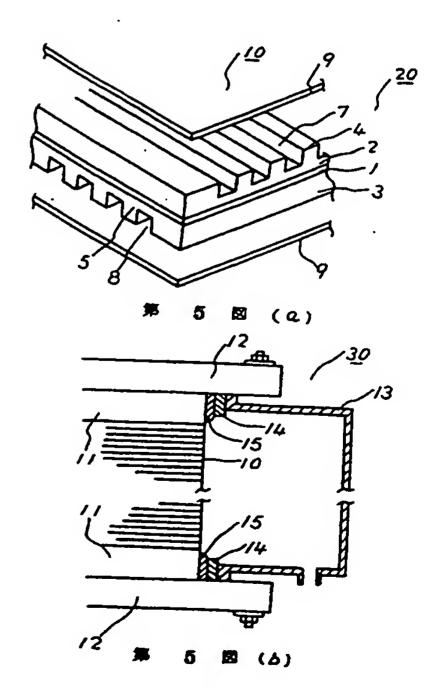
特開昭61-256568 (4)











This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
□ OTHER:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.